

## 勉強会・分科会の実施について

### これまでの委員会

円山川流域委員会として、現地視察、現状説明についても総会のスタイルで実施

項目が多すぎて、議論の時間が取れない。一般傍聴者の質疑の時間がないことが多い。

場の雰囲気として、自分の専門分野外の基本的な（初歩的な）質問がしにくい。また、良く考えた上での意見や質問でないと言にくいことが多い。

このような状況を踏まえ、勉強会や分科会の実施を含めた委員会の進め方・スタイルについて、ヒアリングを行いました。

### ヒアリング時の主な意見

- ・勉強会や分科会などの委員会以外の会の開催について賛成、必要との意見が多数。
- ・要綱、規約に縛られた組織にせず勉強会の形が望ましい。
- ・分科会(部会)に関しては、必要あれば設置する方向で良いと思う。

### (議論)

ヒアリング時の意見をもとに、今後の委員会での勉強会及び分科会(部会)の実施やその方法について、議論願います。

《審議項目》

目的（案）

勉強会：円山川流域委員会で意見を述べるにあたって、委員が知見を深め、情報の共有化等の議事進行を補完する場。

分科会：円山川流域委員会を進める中で、個別問題・専門的問題に基づき、必要に応じて委員会に提出する案等を審議する場。

実施の可否

会のスタイル

会の構成メンバー

リーダー（座長、分科会長）の是非・選定方法

会の招集

内容の公開（情報公開）

会のテーマ

その他